

# 大月っ子

大月小学校だより 令和8年1月20日(火) NO. 18

目指す子ども像：『 自分が好き・友達が好き・大月が好き 』

## 【1月 往ぬる・・・】

昔より、1月は、「往ぬる」とよく言ったもので、新年月が早くも去ろうとしています。今日は「大寒」で、1年で1番寒い日です。寒さと乾燥に注意して体調管理をしましょう。子どもも先生も寒さに負けず元気に登校、明るい学校生活が送れますように・・・これ乗り越えれば春は目前です。

がんばれ大月小の子ども達！がんばれ教職員達！



## 【人権集会】

1月13日(火)に人権集会を行いました。人権とは、一人ひとりが大切にされ安心して生きるための権利です。各学年の代表者による人権標語と6年生の神田結海さんの人権作文の発表がありました。13日から23日までを大月小の人権週間とし、全児童と全教職員が人権ワッペンを胸につけています。人権集会をきっかけに優しい言葉と行動を増やし、みんなが安心して過ごせる大月小学校をつくっていきます。

各学年の人権目標と人権作文を紹介します。

学年	人権目標
1年	<b>☆わる口をいわない～人・どうぶつ・もの～</b> ・1年生の人権目標は、悪口を言わないです。2学期、悪口を言われて嫌な気持ちになったりケンカになったりしたので3学期は、人や物や動物など、どんなものにも言わないようにみんなで気をつけます。みんなが気持ちよく生活ができるように頑張ります。
2年	<b>☆人の気持ちを考えて行動しよう</b> ・2年生の人権目標は、人の気持ちを考えて行動しようです。この目標にした理由は、人の気持ちを考えたら、みんなが仲良く過ごすことができると思ったからです。私たち2年生は、一人ひとりがこの目標を心がけて友達と仲良く過ごせるようにしようと思います。
3年	<b>☆毎日なかよくすごそう</b> ・3年生の人権目標は、毎日仲良くすごそうです。3学期は、自分も友達も誰一人も嫌な思いをすることがないように、みんなて気をつけます。3年生は、学校で過ごす毎日を気持ちよく生活できるように頑張ります。
4年	<b>☆人をばかにしない・人の失敗を笑わない</b> ・4年生の人権目標は、「人を馬鹿にしない」と「人の失敗を笑わない」です。なぜその目標になったかという、4年生は、人が失敗してしまった時に笑って馬鹿にすることがよくあるので、この目標にしました。守り方は、自分がされて嫌なことは人にしないように意識していきます。それでもしている人がいれば、みんなで注意していくようにします。
5年	<b>☆一人一人の意見を大切にしよう</b> ・5年生の人権目標は、一人ひとりの意見を大切にしようです。仲間と協力し合って解決できるものは何かと考えてこの目標にしました。授業だけでなく、休み時間も相手のことを考えた言動に気をつけたいと思います。
6年	<b>☆相手の意見を認め合い気持ちによりそう</b> ・6年生の人権目標は、相手の意見を認め合い気持ちに寄り添うです。この目標を守ることで、6年が今までより更に、相手の気持ちを理解し、みんなの意見が言いやすい雰囲気になると思ったからです。これから、自分達は友達と意見を深め合うようにしていきたいです。

## 【人権作文】

### 『 外国人も同じ人間 』 6年

私は外国人だからと差別してしまうことがありました。いつも友達と帰ったら運動をしています。私はいつも通り友達とボールを使って運動をしていました。そしたら同じ地域に住む外国人が「いっしょにバレーやりましょうか。」と声をかけてきました。私は友達と黙ってしまいました。外国人は少し片言になりながらも日本語を一生懸命話してくれていました。私達は少し怖いな…なんか気まずいなと思いました。それに私達はバレーボールで運動していただけだから、本格的なバレーなんてできないな…どうしようかな…なんか申し訳ないな…と思いました。少し心の中で、外国人だからと差別してしまいました。差別をしてしまうのはいけないこと、だめなことだと分かっていました。心の中では理解できるけど行動や思い込みがあって差別をしてしまうんです。私は何とか、外国人は怖いと思わずに、外国人も同じ人間なんだから怖くないと理解して差別しないように頑張りました。それからの私は、何とか外国人は怖くない、仲良くなれると思う気持ちを忘れませんでした。

私のところは、お父さんとお母さんが海の仕事をしています。その仕事のアルバイトや手伝いの方がたくさん来ます。そこにアルゼンチン出身の人が来ました。その人は、英語をたくさん話していました。最初は少し怖いなとやっぱり思ってしまいました。でも毎日見るようになり、いっしょにご飯などを食べる機会も増えたので、だんだん仲良くなってきました。その時、私は外国人ってこわくない、仲良くなれるんだと実感しました。そういう体験などをしたおかげで、他の外国人とも話すことができるんじゃないかと思いました。だんだん私は勇気も持てました。気持ちの変化、勇気、何よりも仲良くできる、怖くない外国人も同じ人間なんだからという一番大切な気持ちを持つことができました。もう話すために大切なことも兼ね備えることができたので話せると思いました。

私は、その日から地域に住む外国人に「こんにちは」と挨拶などができるようになりました。これは、私の気持ちの変化とアルゼンチン出身の外国人がたくさん関わってくれたおかげだと思いました。この体験から私は、外国人も同じ人間だし、怖くもない、仲良くなれるということが分かりました。それに外国人と仲良くするためには、勝手な思い込みはやめて外国人とも仲良くできる、みんな同じ人間なんだからという気持ちが大切ということにも気づけました。これからもみんな同じ人間ということのを忘れずにしたいです。

**各学年の代表が堂々と人権目標や人権作文を発表してくれました。**



**「学校は楽しい」とみんなが思える学校を、みんなの力で作ってほしいです！**